

スーパーのチラシを楽しむ会ワークシート取り扱い説明

Q1.いつ使うの？一年生でも大丈夫ですか？

A1.買い物のシーンの会が終わってからがベストです。ちなみに私は買い物のシーンが終わった後、時期にして、春学期（前期）の終わり（7月前後）にこのアクティビティを入れています。

テキストの中にでてくる買い物の表現や中国の買い物文化について、一通り説明した後、レアリアを入れるとより効果的です。

一年生でも日本によく似た？中国のスーパーのチラシを見て、どこが同じでどこが異なるかを知るだけでも大事なことだと思います。また、学んだ語と違うものがでてくることをチラシを通して知ることができます。写真とともにでてくるので、学習者の反応が良くも悪くもあるのがこのアクティビティの良さではないかと考えます。

勿論、これ以上のレベルであっても、気づきの場所がまた違ってくるので、触れさせて、理解を深めるという点ではこのアクティビティの意味はあると思います。

Q2.このワークシートの所要時間はどれくらいですか。

A2.実際に学習者に調べさせたりする時間として、最低限欲しい時間としては30分でしょうか。20分ほどではゆっくりチラシをみる時間がありませんし、学習者の気づきのチャンスが減ります。

復習やレクチャーの時間をいれずに30分ですので、30分+ α と考えてください。

Q3.このアクティビティのゴールって、どこにあるんでしょうか。

A3.ゴールは以下の通り

- ①今日のレートをITを駆使して調べることができること。
- ②中国のスーパーのチラシを通して中国語の表現（ものの名前、数え方、値段、安売り表現）の一端を教師の助けを借りながら知ること。
- ③自分自身で、中国のスーパーのチラシをみることで、何らかの気づきを得ること。

でしょうか。

これ以外にも先生方の感じるところがあれば教えてください。

Q4.このアクティビティの評価はどうしますか？

A4.評価をするとすれば、ワークシートの作成、どれくらい気づけたかというところで、評価はできるかと思います。ただ、私については、特に評価はせず、ワークシートを回収後、全員に朱を入れて、返却しています。

“怎么卖？”を“怎么买？”と書いていたり、理解が統一的でない場合もありますので、確認のために見たほうがいいですし、何よりも気づきが私たちの想像もできない気づきをしている学習者に出会えるとこちらもうれしくなりま

す。

また、中国に対して好感を持っていない学習者なら、このアクティビティーを通して、モチベーションをあげる、情意フィルターを下げる効果は期待できます。

Q5.このあとの授業の展開として考えられるものを教えてください。

A5.実際の量り売りの表現の会話練習として使うこともできます。また、余裕があれば、物の名前と値段を言えるようになったら、どちらの店のほうがよりやすいのような日本の買い物上手の人がするような会話練習にまで広げることにはできると思います。

また、買い物表現をまとめさせたり、買い物という一つの行為に対して、プロジェクトワークを行うこともできると思います。ただ、第二外国語向けの授業では、テキストをすすめていくことも軽視できません。やはりこのワークシートを使って買い物を知るということが、ちょっと脱線してできることではないかと思っています。

その他、ご質問あれば受け付けます。

では、作業①～⑨について説明します。

①中国元のレートを確認しよう…

今日は1 RMB=_____円

<http://searchina.ne.jp/exchange/>



※RMBは人民幣のRenMinBiの子音部分をとったもの

ここは実際に買い物をするとき、レートを調べるすべを知っていてほしいというところからきています。日本円でこれがいくらなのか、金銭感覚を養ってほしいわけです。

②中国（大陸）では、生鮮食品など “●●多少钱一斤？” 量り売りで買います。

一斤=_____gあたりいくらで表示します。ちなみに、台湾では、“台斤”と言って、600gあたりいくらで表示します。

これは、学習した量り売り表現の復習です。教科書にこの表現がない場合は補充する必要があります。台湾のはかりうりについては、台湾に行く人は知っていてほしいところです。

③量り売りの表現はもう一つ

買いたいもの+

? という聞き方もできます。

ここは“怎么卖？”が入ります。教科書にこの表現がない場合、補充する必要があるでしょう。学習者には難しいと感じた場合は割愛してもいいかと思えます。ただ、この表現はかなり用途が広いので覚えておきたいものです。量り売りに限らず、一ついくらのようなものでも使えます。ディスカウントの余地があるものに使えるのかなと思っていたのですが、そうでなくても使えるというネイティブの反応もあります。結構使用範囲はあるようです。

④さて、スーパーのチラシを見る前に。お金の表示の仕方、再度確認。

X. YZ ⇒ X=块（元）、Y=毛（角）、Z=分 というわけです。

※¥と書いてありますが、YENではありません。

中国のスーパーのチラシをみると¥や中国の通貨単位について、読み方が分からないという問題に学習者はぶつかります。だいたい、スーパーのチラシには元はでてきてもそれ以下の通貨単位は文字ではなかなか出てきません。声に出して読んでみたり、毛は元の10分の1だとか知っておいたほうがいいので、ここで再度確認します。

⑤チラシから量り売りのものを探し、“●●多少钱一斤？”の会話にあてはめよう。

A: _____ 多少钱一斤？

B: _____ 一斤。 ※③の言い方もできるよ。

声にだして、読んでみよう。例) húluóbo duōshaoqián yì jīn 胡萝卜 多少钱 一斤？ bā máowǔ yì jīn 一八毛五 一斤。

この部分のアクティビティの経験を言うと、探して書いてみてと言っても、要領よくできない人が意外にいます。チラシを読んで書かないといけないし、読解力の問題にもなるし、分かりやすいところで、抜き取って書いてみてほしいと思うのですが、なかなかうまくいかないのが、机間巡回などでレクチャーが必要かもしれません。

その経験ででてきたのが、下に例を書いておくということでした。それでもうまく抜き出せなかったりします。

⑥もっとチラシを観察しよう！⇒量詞をさがそう。チラシにある量詞を書きだしてみよう。

チラシの中の量詞のありかをしっかりさし示せば、学習者はありったけの量詞を探してきます。一年生ならば、こんなにたくさんの量詞が日本語と同じようにあるんだということを知ります。実際、会話の上でも使える量詞とそうではない量詞もあることもレベルによっては補足が必要かと思います。

⑦チラシにある名詞とその値段を書き出してみよう。画像で何が何か見えてきますよね？

中国語	日本語	価格 (RMB)

ここは沢山書くことができるわけですが、学習者はどこまでの商品名かが分からないというのが毎回疑問としてあがります。そのまま書き写させても問題はありませんが、机間巡回などをしながらレクチャーさせられるといいと思います。

⑧安売りやお得感を表す表現を探してみよう。みつけたものに○をつけてみよう。

mǎi yī sòng yī | mǎi yī sòng èr | mǎi èr sòng yī | mǎi sì zèng yī | mǎi yī jiā yī | mǎi sān miǎn yī

买一送一 | 买一送二 | 买二送一 | 买四赠一 | 买一加一 | 买三免一

“买 X 送/加/赠 Y (X 個買ったなら Y 個プレゼント)” “买 X 免 Y (X 個買ったなら、うちの Y 個タダ)”

买就送~ | 多买多送 買ったなら~プレゼント | 沢山買えば沢山プレゼント

全场 X 折 | x 折起 (~割引まで) | 第二件半价/五折 (二つ目は半額)

⇒ “X 折” は「X 掛け」。つまり 10-X = ~割引 |

满 x 元还 Y 元 | 满 x 元减 Y 元 | 满 x 元就送

X 元買ったなら Y 元返します | x 元買ったなら Y 元安くします | x 元かったら~プレゼント

均价一元 jūn jià yì yuán | 均一价 统统 tǒngtǒng 只要 10 元 ⇒ 均一価格を表す表現

加一元多一件（一元足すと一つ増える）

学習歴が短い人向けには、まずは見て探せること、どんなにお得表現がバラエティに富んでいるか知ることが大事です。学習歴が長い人向けにはこの部分をとって、学習者に直接抜き出して書かせる方法もいいと思います。

⑨チラシをみて感じたこと、気になったこと、疑問など、自由に書いてみよう。

この部分は学習者に自由に書いてもらうのですが、気づきが多い人はかなり気が付いて書き出すところです。私たち教員の想像を超えるところに気づいている場合も多くあります（それをみるのが楽しみなのです。）

気づきのポイントは①物価の日中差、②スーパーのチラシのレイアウトについて、③チラシに登場する食材、品物について、④中国ならではの文化がどこにでてくるか、⑤お得表現に対する感想などなど多岐にわたります。

机間巡回をしながら学習者の質問に答えていくのもとても大切な指導となります。学習者には「何か気になることがあれば、挙手して呼んでください」とでもっておけば、手をあげて、どんどん質問してくれます。この知的好奇心を逃してはいけません。